

賛助会北信

令和3年7月20日発行

第 134 号

(公財)長野県長寿社会開発

センター北信地区賛助会

発行者：前 澤 政 宏

R3、北信地区賛助会総会



新型コロナウイルスが地球規模で蔓延し、新型の株も出現して未だ完全に終息していません。会員の皆様はご健勝のことと思います。ワクチン接種も進んでいますがお済でしょうか。

さて、令和3年度の総会は去る6月25日(金)に、長寿社会開発センター北信支部長田中道代様を来賓に迎え、飯山庁舎3階会議室にて開催いたしました。総会は2年ぶりになりましたが、このご時世大事をとって幹事会を総会に代えさせていただきました。会員の皆様には参加の出番をなくしてしまい、大変申し訳なく思いますが、ご理解いただきますようお願い申し上げます。



議長には会長の前澤が指名され、続いて記録員に飯山支部吉越一二さん、議事録署名人には木島平支部岩井眞里子さんをご委嘱申し上げ4つの議案について審議いたしました。

◎決定事項の大事な部分をお知らせいたします。

- 1 地域交流事業 木島平支部主管マレットゴルフ 飯山支部主管ペタンク 中野支部主管ゲートボール
飯山支部主管県歌「信濃の国」を巡る旅

いずれも期日は未定で、各主管支部の計画によります。計画がまとまり次第支部より連絡があります。会員の皆さん、出番ですよ。「信濃の国」を巡る旅は、当地区最大の目玉活動で県下各地区に注目されていますが、コロナの行方を見守りつつ計画いたします。

- 2 幹事会は年6回、グループ長会は年2回、会報「賛助会北信」はりらく発行に合わせて年3回
3 会則の一部改正
4 「会員勧誘促進委員会」の発足

会員の減少は危機的な状況です。顧問の片桐静雄さんから提案があり発足したものです。メンバーは正副会長の他各支部幹事さんから1名ずつ、そして顧問の片桐さんです。

入会のお誘いをしているとよく聞かれる言葉は「メリットは？」です。メリットは人それぞれでしょうけれど、

人が集まれば元気が出る
元気が出れば何かができる
何かができれば楽しくなる
楽しくなれば新しいものに
挑戦できる

何もしないでにおいて何かを得たいというセコイ考え方だと思います。賛助会員になれば活動の幅が広がります。

「飯山雪国大学」で元飯山小学校教頭の宮下健司さんが左のようなことを言われました。聞き覚えで、後でメモをしたので違う部分があるかも知れませんが雰囲気はご理解いただけたと思います。どうでしょう。

会員の皆さんは長寿社会開発センターの事業に賛同して会員になったわけですから、それでいいのですが、折角会員になって人の輪が広がるわけですから、やっぱり何か活動したい。そこでグループができる。老体になって活動できなくな

ったらそのまま賛助会員でいてセンター運営にご協力をいただきたいのです。皆さん、自分たちの後にくものために。会員の皆様におかれましては是非勧誘にお力添えをお願いします。

本部では「グループ活動活性化検討会」を立ち上げましたので、この会の行方を見ながら活動を始めます。



【総会会場で】

山ノ内支部解散

本年3月31日をもって山ノ内支部が解散いたしました。支部長の佐藤英彦さんが山ノ内マレットゴルフのグループ長でもあり、加えて現在の役員さんをご高齢になり、「後を引き継いでくださる方がおられない」という理由からグループを解散、会員全員が支部会員でそのまま支部も解散ということになった次第です。賛助会発足時からずっと活動を共にしてまいりましたが、お仲間になっていただいていたありがとうございました。

他グループに所属しておられます2名の方と信州りらく愛読者の1名の方は残られました。山ノ内町3名を代表して小林英夫さんが連絡員を務めてくださいます。

※山ノ内町の会員は3名になります。いずれ支部を結成していただけるよう願います。

今まで
ありがとう
ございました!

【文化芸術交流会】 9月11日(土)

主会場(長野市)と県内 11 のサテライト会場および個人での参加者をオンラインでつないでの交流会となります。北信支部の会場は飯山市文化交流館「なちゅら」です。

事前の申し込みが必要です。参加希望者は「2021 信州ねんりんピック」チラシのオンライン交流会の参加方法をご確認のうえ郵送か FAX、メールでお申し込みください。

【高齢者作品展】 9月10日(金)～12日(日) 安曇野市穂高公民館

申し込み締め切りは8月12日(木)

【囲碁・将棋大会】 9月11日(土) 安曇野市穂高公民館 申し込みは8月1日～31日(火)

【スポーツ交流会】 9月25日(土) 大町市運動公園

いずれの大会も参加者個人かグループで移動してください。バス等大型車の手配は致しません

「新入会員の紹介」 長野県長寿社会開発センターの賛助会が発足したのは平成元年に、当時の木島平村村長の湯本安正氏が県知事をお願いして始まったと聞いております。平成15年度は北信地区だけで585人の会員数でした。しかし今年は5月末現在で125人と、激減しています。寂しい限りです。会員の皆さん、少人数なりにまとまり易さを活かして和やかな会にしていきましょう。

【新 入 会 員 紹 介】

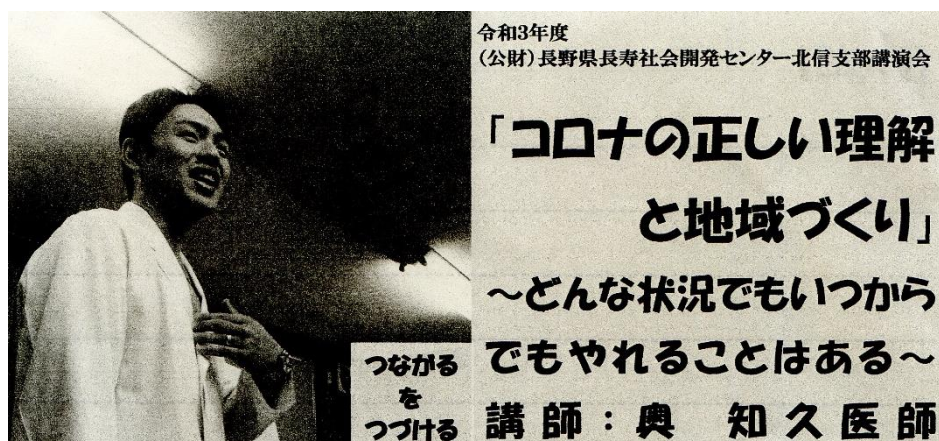
割田久仁子さん(中野支部)

樋口 圭子さん(中野支部)



グループに所属し居場所と出番を確保しましょう

よろしくね!



「キケン」は避けるが

リスクは取る」

「リスクを取らない

リスクがある」

リスクを避けると
ヒキコウモリという恐ろしい
妖怪が出てきますよ

ヒキコウモリ？
ひきこもり…か？



6月29日(火)県飯山庁舎で、長野県長寿社会開発センター北信支部主催の講演会が行われました。飯山会場をメインに、サテライト会場は秋津地区活性化センター、中野市役所、栄村役場・栄村秋山生きがいセンター、伊那市社協をオンラインで結んで、奥先生は大阪からご講演くださいました。参加者はサテライト会場も含めておよそ120名くらいです。

強力な変異株も出現し終息の兆しがさっぱり見えない中、都会では「命は政府が守ってくれるはず」と心得違いをしている若者たちのグループが、マスクを外して路上飲酒、大声で話すなどの映像をTVで見るにつけ、コロナの時代を生き抜く工夫や生きていく上で大事なことを参加者みんなで考えながら参加することができたと思います。



会員投稿

齋藤順一さん（飯山支部）

丹精の味噌つけて喰ふ初胡瓜
夏草を切り新しき風の道
ほどほどに老を諾（うべな）ふ
新茶かな
田水入り里山やさし蛙鳴く
散髪を済ませてきたり更衣

